

平成 23 年度地域本部長会議

高知県 建設／総合技術監理部門

右城 猛

(株)第一コンサルタンツ



1. まえがき

地域本部長会議は東京の葺手第二ビルの会議室で開催されているが、年1回は地方で開催されることになっている。今年度は第4回目の会議が、平成24年3月24日(金)に高知市の三翠園で開催された。四国では初めてである。

翌日には見学会があり、桂浜の坂本龍馬記念館、五台山竹林寺、牧野植物園を観光した。

2. 本部長会議

本部長会議は14時より、土佐藩主山内家下屋敷跡に建つホテル三翠園で開催された。

東北、北陸、中部、近畿、中国、九州、四国の各本部長、北海道副本部長、統括本部からは会長、副会長、専務理事、常務理事ら19名の出席があった。四国本部からは、加賀本部長、増田・右城副本部長、栗本総務委員長、明坂防災委員長が出席した。

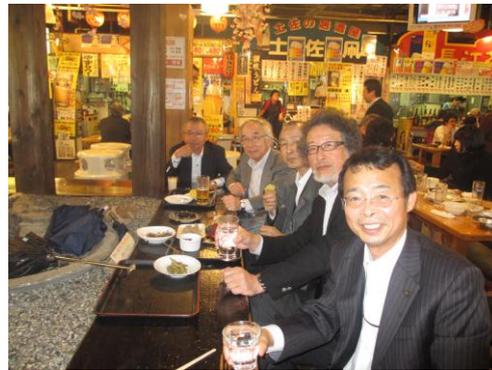
会議は、四国の加賀本部長の司会で進められ、内村会長の挨拶、統括本部および各地域本部からそれぞれ活動報告、要望があり、議論された。その主なものを列挙すると次の通りである。



- ① 一次試験と二次試験の受験者数が減少し、特別会計が赤字状態になっている。
- ② 経費削減を図るため、専門科目の再編、総合技術監理部門における専門科目の必要性、試験日数の短縮、建設環境と環境部門の統合について検討している。
- ③ 技術士一次試験の合格率を50%程度まで高めることを考えている。
- ④ 地域本部の県支部設置状況と課題。
- ⑤ 会員拡充活動状況。
- ⑥ CPD講演のWeb視聴。

3. 懇親会

18時から本部理事の武山四国副本部長も加わり土佐流の懇親会が開催され、土佐名物の皿鉢料理を堪能していただいた。



中締めの後、5人で「ひろめ市場」を散策。

4. 見学会

(1) 桂浜

8時、貸し切りバスでホテルを出発し、最初に月の名所で名高い桂浜を見学する。

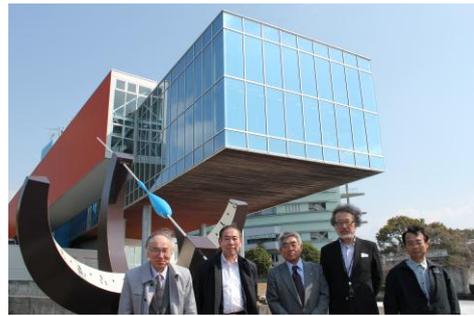


坂本龍馬像の前で記念撮影。龍馬生誕 90 年の大正 15 年(1925)に、県内の青年有志が寄付金を集めて建立したもの。

以前、県外観光客を呼び込む策として、龍馬像の両脇に土佐勤王党の同志の武市半平太と中岡慎太郎のレプリカ像を設置する案を高知県が出したことがあったが、「桂浜は龍馬の聖地」と龍馬ファンから猛反発があり、中止に追いやられた。



歌人・大町桂月が、「見よや見よ みな月のみのかつら浜 海のおもよりいづる月かげ」と歌った桂浜。背後は龍頭岬。



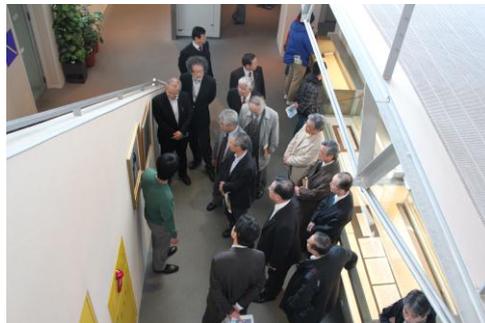
龍馬の生誕 150 年を記念して建てられた高知県立坂本龍馬記念館とアナレンマ型日時計。



坂本龍馬記念館の開館 20 周年を記念して、昨年 11 月 13 日に会館正面に建てられたシェイクハンド龍馬像。



森健志郎館長に挨拶。森館長の実弟は日本技術士会の会員。



館内の見所を学芸員の方に説明していただく。坂本龍馬が土佐藩を脱藩したのは、文久 2 年(1862 年)3 月 24 日。150 年前の今日とは奇遇である。

(2)五台山竹林寺



バスで五台山に移動し竹林寺を参拝する。



竹林寺は、四国霊場第三十一番札所になっている。背中に「南無大師遍照金剛」と黒書された白衣を着、菅笠を被り金剛杖を持ったお遍路さんが多い。

(3)牧野植物園

高知県立牧野植物園は、牧野富太郎博士の業績を顕彰するために作られた植物園で、日本には珍しく貴重種の保存、研究、教育普及、憩いの場の4つの機能を備えている。

黒岩宣仁氏と前田綾子さんにガイドをしていただきながら見学。お二人とも環境部門の技術士である。



五台山の地形と気象を考慮して植物園が設計されたことを模型を見ながら説明する黒岩氏。



本館1階には、研究室、植物標本庫、牧野文庫収納庫などがある。部外者立ち入り禁止になっている植物標本庫を特別に見学させていただく。ミャンマー、ソロモン諸島などに海外学術調査を展開し、資源植物の探査研究が活発に行われている。



建物は内藤廣氏によるもので、自然と人間との共生をテーマとしてデザインされている。

天井と壁には県産スギ、外部のデッキには防腐処理を施した県産ヒノキを使用している。土木学会デザイン最優秀賞、国際トリエンナーレ・インターアーキグランプリなどを受賞。



北園。建物は、地形に溶け込んで目立たないようにデザインされている。



尾長鶏の花皿鉢。高知は国の特別天然記念物に指定されている尾長鶏の原産地である。



南園の温室には海外から集めた熱帯地方の貴重な植物が植えられている。



ヒスイカズラ。翡翠色をした花が咲いている。



南園の50周年記念庭園。池に浮かべられた花皿鉢とクジラの親子。

5. あとがき

内村好会長をはじめとする統括本部役員や各地域本部長の皆様には、遠路、四国の高知までお越しいただき、誠にありがとうございました。

会議当日の天候は生憎の雨であったが、翌日の見学会は晴天に恵まれ、正直ホッとした。奇しくも見学日は、150年前に坂本龍馬が土佐藩を脱藩した日に当たり、そして牧野富太郎生誕150年ということであった。

坂本龍馬記念館と牧野植物園に共通している点は、施設や展示品が年々充実していることと、勤務している学芸員の皆さんが生き生きと働いていることである。仕事が本当に好きでなければ思いつかないような工夫が随所に見られた。マニュアルに依存していたのでは良い仕事はできないというとうことを改めて認識させられた。

帰りの飛行機や列車の都合で、13時50分には牧野植物園を出なければならないという非常にタイトなスケジュールであったが、学芸員の皆様に案内していただいたお陰で、とても内容の充実した技術士会に相応しい見学会となった。

坂本龍馬記念館、牧野植物園の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(2012年3月25日記)